

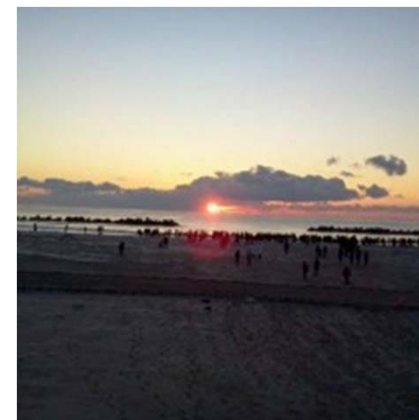


みちのく震録伝

東北大学アーカイブプロジェクト



**東北大学災害科学国際研究所
情報管理・社会連携部門
災害アーカイブ研究分野
柴山 明寛**





AS みちのく震録伝

東北大学アーカイブプロジェクト

みちのく

宮城県、福島県、岩手県を中心に東北地方全域

震

東日本大震災

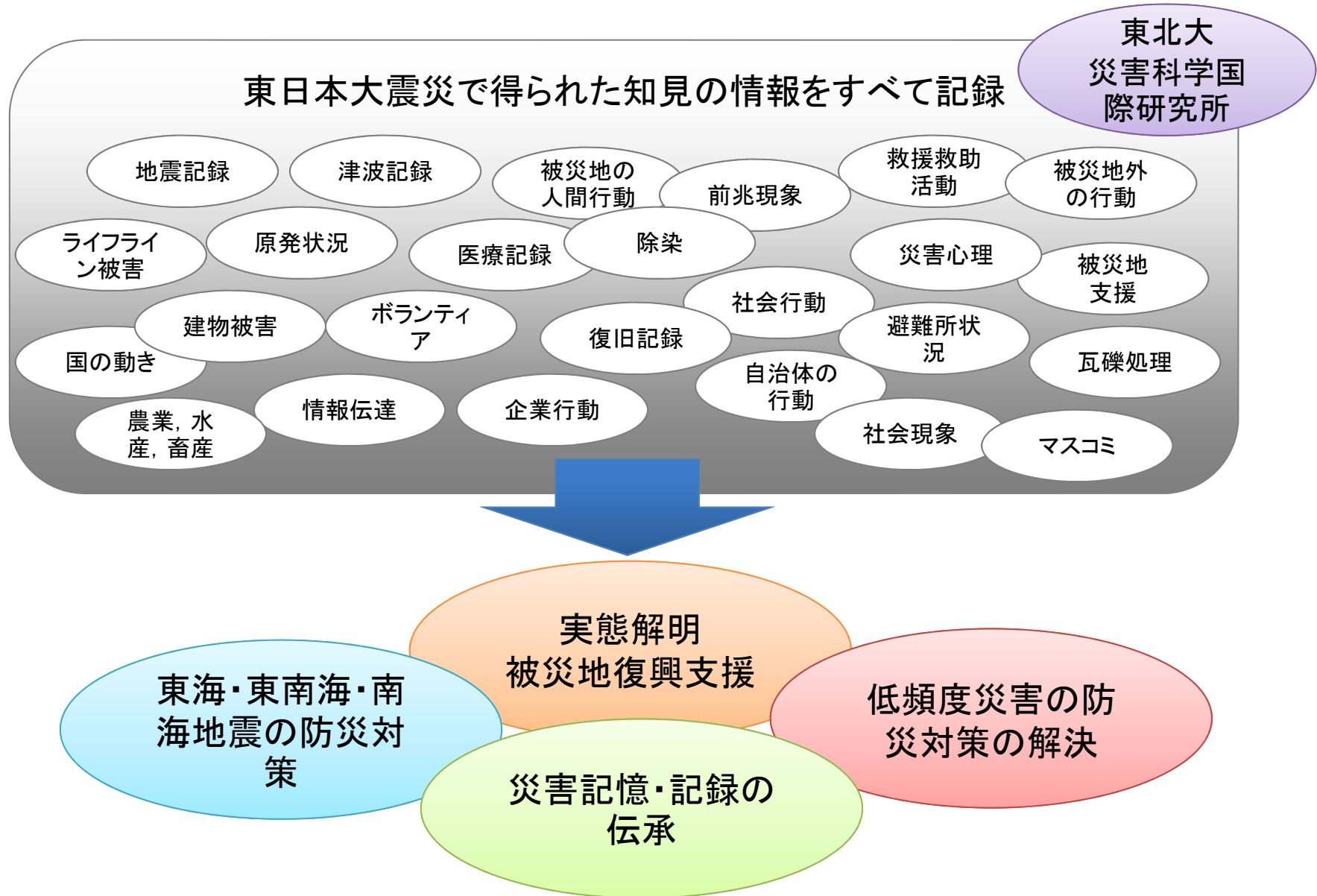
録

災害の記憶、記録、事例、知見を記録する

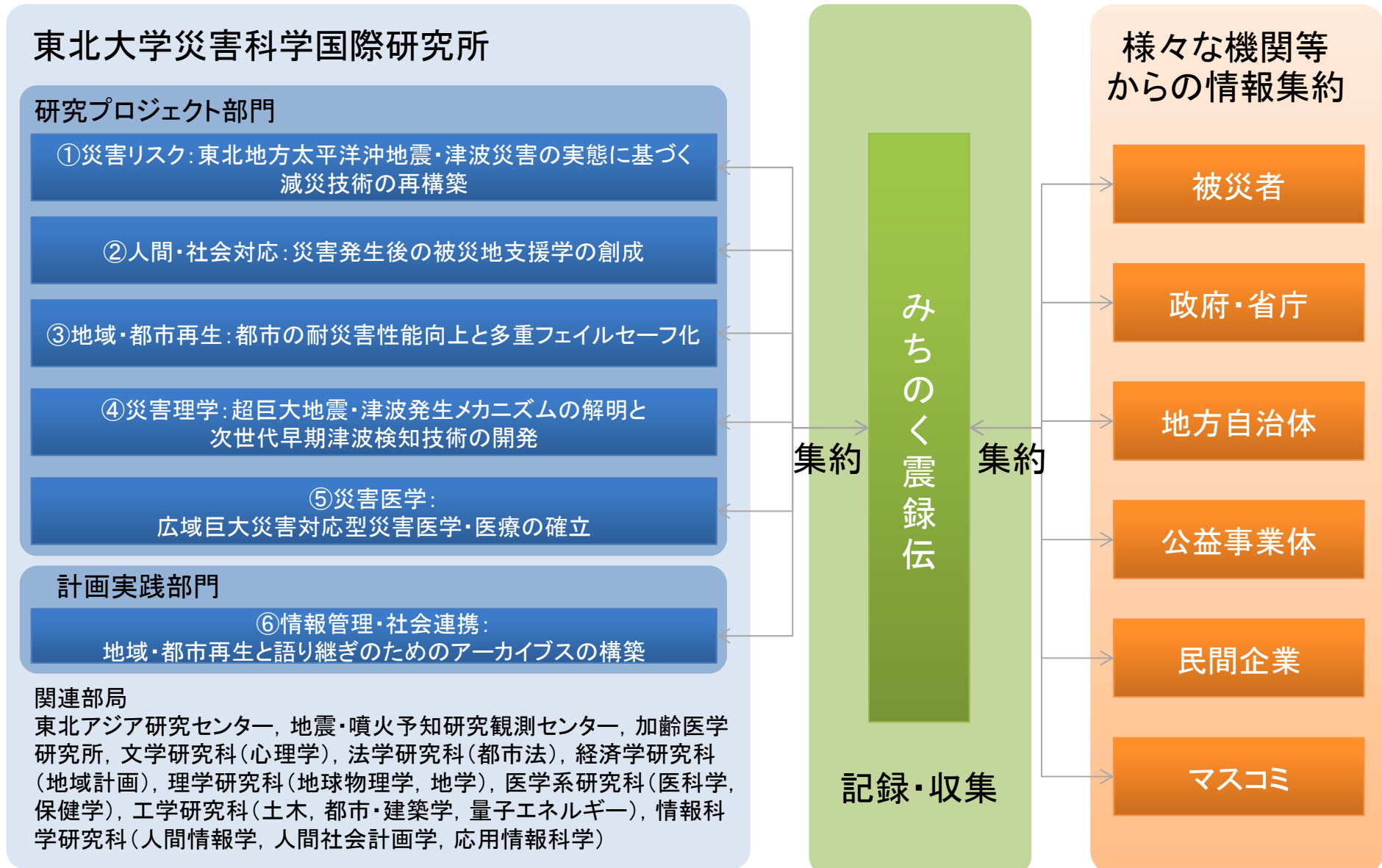
伝

災害の伝承、国内外へ伝達する

みちのく震録伝の目的



東北大学防災科学研究拠点とみちのく震録伝との関係



みちのく震録伝の10の基本理念

1. 学術的な観点からあらゆる「記憶」、「記録」、「事例」、「知見」を収集するとともに、あらゆる可能性を否定せずに幅広く情報を収集し、アーカイブすること。
2. 東日本大震災をはじめとする災害記録をアーカイブするとともに、東北地方の過去・未来の災害についてもアーカイブすること。
3. 災害に関して得られた知見を即座に防災・減災対策に結び付けられるかたちで情報発信すること。
4. アーカイブと利用者間の対話の中から、継続的に成長するシステムであること
5. 災害発生以降の被災地の復旧・復興過程の現況を継続的に(時間的な観点)東北地方の沿岸部から内陸部まで空間的に記録(空間的な観点)すること。
6. 他機関の様々な震災アーカイブや社会サービスと横断的に連携すること。
7. 災害アーカイブのグローバル・スタンダードを目指すこと。
8. 大学、研究所、行政、企業等の防災・減災システムと連携し、対策・対応を支援すること。
9. 様々な環境に応じた防災・減災教育に関する情報で提供できること(e-Learning等)。
10. アーカイブシステムの構築に伴い、東北地方を中心に雇用を創出すること。

賛同・協力機関（100機関以上との連携）

行政・自治体・等	宮城県、仙台市、多賀城市、文部科学省、総務省、国立国会図書館(NDL)、科学技術振興機構(JST)、国立情報学研究所(NII)、国際協力機構(JICA)、仙台国際交流協会(SIRA)
大学	東北大学史料館、東北大学防災科学研究拠点、東北大学附属図書館、とうしんろく、仙台スクール・オブ・デザイン、ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所
NPO	日本画像情報マネジメント協会(JIIMA)、日本弁護士連合会(災害復興支援)、防災科学技術研究所、社会福祉法人プロップ・ステーション、東北イメージ情報業協会、NPO法人デジタルヘリテージデザイン
メディア	株式会社河北新報社、信濃毎日新聞社、通信文化新報、株式会社ニューメディア、株式会社NHKメディアテクノロジー
企業 (東北外)	日本アイ・ビー・エム株式会社、朝日航洋株式会社、アジア航測株式会社、EMCジャパン株式会社、株式会社岩根研究所、株式会社インテージ、インフォコム株式会社、株式会社インフォーマティクス、株式会社ウェザーニューズ、NTT空間情報株式会社、ESRIジャパン株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社、株式会社クレスソフト、グローバル・サーベイ株式会社、株式会社コンピュータシステム研究所、株式会社昭文社、国際航業株式会社、株式会社国際マイクロ写真工業社、株式会社ジムコ、株式会社寿限無、株式会社ゼンリンデータコム、測地衛星技術株式会社、大日本印刷株式会社、太陽誘電株式会社、株式会社テクノプラン、株式会社電通、東京海上日動火災保険株式会社、凸版印刷株式会社、株式会社トータルメディア開発研究所、株式会社トプコンソキアポジショニングジャパン、株式会社ニチマイ、日本SGI株式会社、ニホンモニター株式会社、株式会社トータルメディア研究所、中日本航空株式会社、ナカバヤシ株式会社、ネットワークダイナミクス株式会社、株式会社博報堂、株式会社パスコ、ビクターアドバンスメディア株式会社、株式会社ピセ、株式会社ビデオリサーチ、ヒューマンリソシア株式会社、マルティスーフ株式会社、丸善株式会社、株式会社ラック、株式会社ラネックス、株式会社ワンビシアーカイブズ
東北地方企業	朝日航洋株式会社東北空情支社、アジア航測株式会社仙台支店、株式会社インテグ、株式会社ヴォイス、NECソフトウェア東北株式会社、株式会社NHKメディアテクノロジー東北支社、株式会社NTTデータ東北、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北支社、応用地質株式会社東北支社、株式会社北日本朝日航洋、株式会社草野測器社、国際航業株式会社東日本事業本部東北支社、今野印刷株式会社、株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所、株式会社ザッツ福島、株式会社仙台測器社、株式会社仙台博報堂、株式会社DNP東北、株式会社テクノプラン 仙台営業所、株式会社DSG、株式会社電通東日本、凸版印刷株式会社東日本事業部、株式会社日立東日本ソリューションズ、富士ゼロックス株式会社、株式会社富士通東北システムズ、株式会社ビデオリサーチ東北支社、ピセ株式会社 仙台支店、ヒューマンリソシア株式会社仙台支社、株式会社プレシード、日本総合システム株式会社仙台支社、株式会社山形測器社、株式会社ワンビシアーカイブズ 東北第1センター

みちのく・いまをつたえ

ねらい

- 東日本大震災の特徴＝広域的災害
→ 網羅的・定期的なフィールドワークが
難しいことへの対応

特 徴

- 宮城県沿岸部の15市町において
情報収集活動を実施
- 被災地の雇用に＝地元採用
→ 地域密着の活動の 特徴に
- 現地一般公募の住民と
消防ネットワークを通じた消防OB
を採用 (全16名+ボランティア)
- 2012年1月から活動



みちのく・いまをつたえ

リアルタイムに被災地情報 報の配信



<http://www.facebook.com/imawo.tsutaetai>

震災直後

震災から1年

震災から2年



東北大学研究者による
復興写真マップ

みちのく震録伝
東北大学アーカイブプロジェクト



シーズン1



シーズン2



シーズン3



約2万～3万枚
以上



約2万5000枚
以上



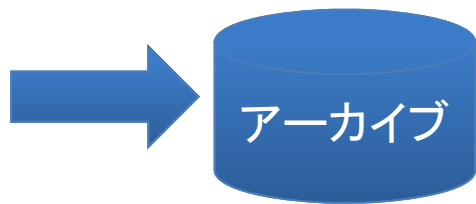
約4万枚以上



利活用事例(その1)



証言記録・画像等



一部



利活用として公開



現状の配信




リアルタイムに復旧・復興状況の発信
「復旧・復興への寄与」

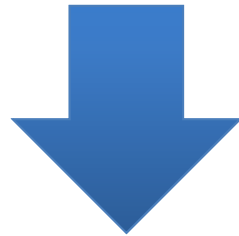
<http://www.facebook.com/imawo.tsutaetai>

一部の証言は、
放送作家による二次改編

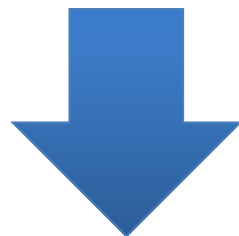


語り継ぐ記憶として公開
「将来への記憶への寄与」

みちのく・いまをつたえ 



かたりつぎ 
katari-tsunagu



2013年中に
語り部育成ワークショップの開催
次の担い手を育成

利活用事例(その2)

東日本大震災の教訓と今後の備えについてのワークショップ^o
(NHKアーカイブスの協力)



今村教授によるワークショップの趣旨説明



証言アーカイブ映像を真剣に観る参加者の皆様

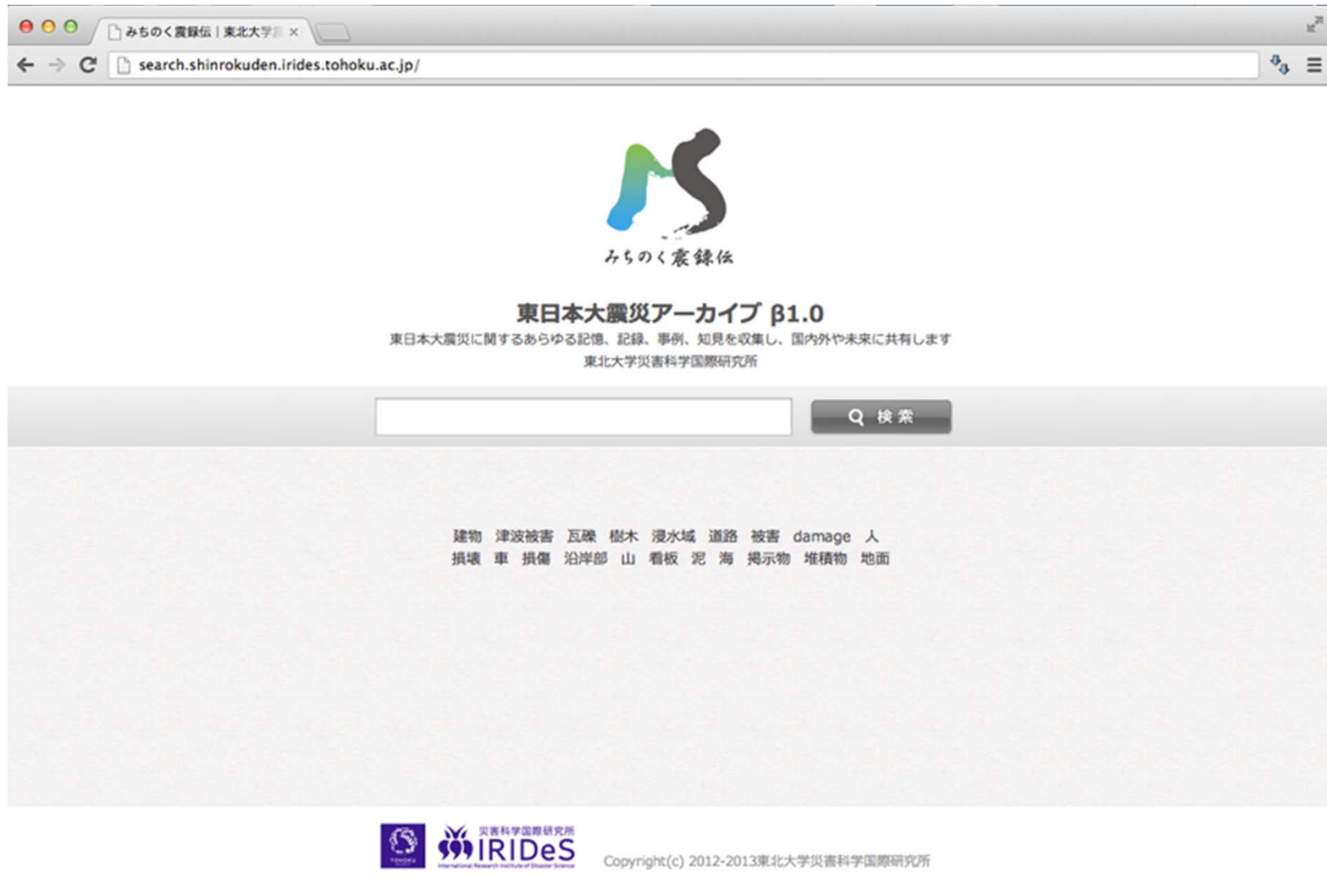


ワークショップでの議論の様子



ワークショップの結果の発表

みちのく震録伝 検索サイトβ1.0 試験公開開始



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying "search.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/". The page features a logo for "みちのく震録伝" (Mitsunoku Shinrokuden) and the title "東日本大震災アーカイブ β1.0" (Great East Japan Earthquake Archive β1.0). Below the title is a search bar with a "検索" (Search) button. A list of search terms is provided: 建物 (Building), 津波被害 (Tsunami damage), 瓦礫 (Debris), 樹木 (Trees), 浸水域 (Flooded areas), 道路 (Roads), 被害 (Damage), damage, 人 (People), 損壊 (Damage), 車 (Cars), 損傷 (Damage), 沿岸部 (Coastal areas), 山 (Mountains), 看板 (Signs), 泥 (Mud), 海 (Sea), 揭示物 (Markers), 堆積物 (Sediments), 地面 (Ground).

みちのく震録伝

東日本大震災アーカイブ β1.0

東日本大震災に関するあらゆる記憶、記録、事例、知見を収集し、国内外や未来に共有します
東北大学災害科学国際研究所

検索

建物 津波被害 瓦礫 樹木 浸水域 道路 被害 damage 人
損壊 車 損傷 沿岸部 山 看板 泥 海 揭示物 堆積物 地面

災害科学国際研究所
IRIDeS
International Research Institute of Disaster Science

Copyright(c) 2012-2013東北大学災害科学国際研究所

<http://search.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/shinrokuden/>

みちのく震録伝 検索サイトβ1.0 公開

みちのく震録伝 | 東北大学 x

search.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/shinrokuden_ST/wicket/page?1

東日本大震災アーカイブ β1.0版
東日本大震災に関するあらゆる記憶、記録、事例、知見を収集し、国内外や未来に共有します

投稿する

津波被害

検索 比較する

写真 動画 ドキュメント その他 12099件

キーワード

- 津波被害(12087)
- 建物(7875)
- 瓦礫(7381)
- 樹木(5820)
- 損壊(5398)
- 浸水域(5067)
- 泥(2777)
- 道路(2670)
- 堆積物(2508)

次の10件 >>

空間情報

- 宮城県石巻市(1467)
- 宮城県仙台市若林区(1295)
- 宮城県名取市(1186)
- 宮城県亶理郡亶理町(623)
- 宮城県気仙沼市(622)
- 宮城県東松島市(613)
- 宮城県亶理郡山元町(578)
- 岩手県宮古市(517)
- 宮城県仙台市宮城野区(497)

次の10件 >>

コンテンツ種別

- 写真(12099)

■ 東北大学研究者による震災写真

作成日(撮影日): 2011年03月14日 11時07分18秒
作成者: Suppasri Anawat
提出日: 2013年02月08日 08時31分54秒
[詳しく見る >](#)

■ 東北大学研究者による震災写真

作成日(撮影日): 2011年07月25日 12時35分31秒
作成者: Suppasri Anawat
提出日: 2013年02月08日 08時34分00秒
[詳しく見る >](#)

■ 東北大学研究者による震災写真

作成日(撮影日): 2011年03月15日 16時28分15秒
作成者: 佐藤翔輔
提出日: 2013年02月27日 14時03分31秒
[詳しく見る >](#)

■ 東北大学研究者による震災写真

作成日(撮影日): 2011年04月14日 15時00分35秒
場所: 宮城県仙台市若林区荒井 [MAP >](#)
作成者: Suppasri Anawat
提出日: 2013年02月08日 08時25分45秒
[詳しく見る >](#)

■ 東北大学研究者による震災写真

作成日(撮影日): 2011年04月16日 10時23分02秒

みちのく震録伝 検索サイトβ1.0 公開

みちのく震録伝 | 東北大学 ×

search.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/shinrokuden_ST/wicket/page?1

津波被害

検索 比較する

写真 動画 ドキュメント その他 7381件

キーワード

- 瓦礫(7381)
- 津波被害(7377)
- 建物(5099)
- 損壊(4213)
- 浸水域(3720)
- 樹木(3178)
- 泥(1986)
- 流出物(1922)
- 山(1417)
- 堆積物(1407)

次の10件 >>

空間情報

- 宮城県石巻市(999)
- 宮城県仙台市若林区(973)
- 宮城県名取市(473)
- 宮城県気仙沼市(448)
- 宮城県亶理郡亶理町(410)
- 宮城県亶理郡山元町(327)
- 宮城県亶理郡女川町(321)
- 岩手県下閉伊郡山田町(288)
- 宮城県東松島市(265)
- 福島県相馬郡新地町(265)

次の10件 >>

コンテンツ種別

- 写真(7381)



みちのく震録伝 検索サイトβ1.0 公開

みちのく震録伝 | 東北大学 × 検索サイトβ1.0版

東日本大震災に関するあらゆる記憶、記録、事例、知見を収集し、国内外や未来に共有します

東日本大震災アーカイブ β1.0版

東日本大震災に関するあらゆる記憶、記録、事例、知見を収集し、国内外や未来に共有します

東北大学研究者による震災写真



作成日(撮影日) : 2011年04月25日 14時25分55秒
撮影場所 : 宮城県牡鹿郡女川町鷺神浜
分類(タグ) : 倒壊 剥落 土砂 山建物 損傷 損壊 沿岸部 泥津波被害 海 瓦礫
説明 :

作成者 : Suppasri Anawat
提出日 : 2013年02月08日 08時35分14秒

他アーカイブ機関へのコンテンツの提供

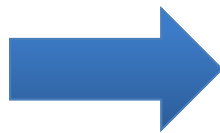


約4万点



3月末までに10万点予定

あおりデジタルアーカイブシステム
 NHK東日本大震災アーカイブス
 河北新報 震災アーカイブ
 神戸大学附属図書館震災文庫
 3.11 忘れない ~FNN東日本大震災アーカイブ~
 2011年東日本大震災デジタルアーカイブ
 東日本大震災アーカイブ
 Fukushima
 東日本大震災写真保存プロジェクト
 未来へのキオク
 陸前高田震災アーカイブNAVI



国立国会図書館 東日本大震災アーカイブ ひなぎく



総務省運用モデル実証事業

河北新報社への技術協力



技術協力



河北新報 震災アーカイブ



<http://kahoku-archive.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/kahokuweb/>

被災地図書館と協力した震災記録の収集活動



震災記録を 図書館に

図書館は震災記録を収集しています。
図書館は震災記録を永久に保存します。
図書館は震災記録を公開し後世に伝えます。

皆さまがお持ちの震災記録を、
ぜひ図書館にお届けください。

調査報告書、復旧・復興計画書など
フリーペーパー、ミニコミ誌、チラシなど
イベント・セミナー・相談会等のチラシなど
各種活動記録(ボランティア記録など)
学校だより、会報、広報誌など
個人・団体が作成した文集・体験記・手記など



「みちのく震録伝」の今後の取り組み

・市民レベルから自治体レベルまでのアーカイブ支援

震災から2年を迎え、市民、NPO、自治体など様々な団体で震災アーカイブが動き出している。私達は、2年間の知見を基に、様々な団体に対してアーカイブ方法や利活用方法、機材など技術等の支援を行う。

・震災記録の利活用と社会展開

復旧・復興の寄与および今後の防災・減災に資するために、震災記録の様々な利活用および社会展開を推進していく。

・震災記録の提供（利用促進）

みちのく震録伝で収集した震災記録をAPIを通して提供